

9 月 定 例 会



本市における教育行政の諸課題と義務教育学校開校に向けた対応について

立憲民主党 神谷 大輔

議員 義務教育学校の開校により、統合される各学校が長年にわたって築いてきた地域との関係性について今後の対応を伺います。

教育長 地域に根差した学校を目指す学校評議員制度がありますが、3つの学校が統合するということから、さらに地域との色濃い連携を考えた組織をつくる必要があると考えます。校舎構想の中では、地域住民が使用できる部屋を準備しています。今後も全国の事例を研究し、検討していきます。

議員 開校にあたり保護者や地域住民の不安を解消し、理解を得るための対応の必要性について所見を伺います。

教育長 説明会等さまざまな機会を通して十分な説明を行い、具体的な疑問には推進室だよりを通して回答しています。今後もいろいろな角度から丁寧な発信を続けていきたいと思ひます。

議員 義務教育学校設置のメリットについて所見を伺います。



教育長 共通の教育目標に基づき、継続性と系統性をもって9年間、子どもを育てるということに尽きると思ひます。義務教育学校を成功させ、その中で他の学校に模範となるようなものを啓発して、太田市の学校全体がレベルアップすることを目指しています。

議員 あるべき義務教育学校像について、市長の所見を伺います。

市長 学年の縦の連携で行動することで、子どもたちが学校や地域について強く意識するようになると思ひます。時代の変化を捉えた上で教育委員会が掲げるメリットを理解し、欠点があれば改善していくことが大切と思ひます。



本市における不登校対策について

太田クラブ 齋藤 光男

議員 本市における過去3年間の不登校の児童生徒数を伺います。

教育部長 平成28年度が児童62人、生徒223人、29年度が児童58人、生徒197人、30年度が児童78人、生徒210人です。

議員 本市の不登校対策について伺います。

教育部長 すべての小中学校に悩みごと相談員と教育支援隊を配置しており、特に支援が必要な学校には、各校1人、合計で12人の不登校専門員を配置しています。また、不登校児童生徒とその保護者を支える取り組みとして、教育研究所の相談業務や適応指導教室、おたん通信教室の事業を行っています。

議員 不登校専門員の具体的な職務内容と、その効果について伺います。

教育部長 相談室登校の児童生徒に対し、教室復帰を目指した個別指導を行うため、29年度から配置しています。中学校における29年度と30年度の不登校生

徒数を比較すると、不登校専門員未配置の学校では合計28人の増加、配置した学校では合計15人の減少となり、大きな効果が確認されました。



議員 不登校児童生徒を減少させるための取り組みについて教育長の所見を伺います。

教育長 不登校に絶対的な解決策はなく、教育委員会においても最大の課題です。常にいろいろな観点から協議し、不登校専門員をはじめ、考え得るあらゆる策を取ることが大切と思ひます。

■その他の質問

・本市の公共施設等の現状と今後の計画について



ドクターカーの導入について

太田クラブ 中村 和正

議員 私が平成30年9月定例会でドクターカーの導入について一般質問を行ったところ、今後、研究および検討をしていくとの答弁がありました。その後の消防本部における取り組みや実績を伺います。



消防長 従来から実施している医師搬送を拡大した社会実験を平成31年2月から実施し、現在の救急体制の中で医療機関と協力して、消防救急車に医師が同乗して現場に向かっています。令和元年8月末までの実績は、午前9時から午後6時の時間帯で延べ17日間実施し、全救急要請228件のうち26件の医師搬送を行いました。今年度末まで継続し、医師搬送

の有効性と必要性を検証していきたいと思ひます。

議員 昨年の市長答弁では、導入については前向きに考えたいが、医師の確保が課題であるとのことでした。他市に先駆けた医療の充実を進めるため、医療機関と協議し、医師や看護師、車両の整備のための経費の助成を予算化することについて市長の所見を伺います。

市長 現在は実験段階にありますので、もう少し継続して有効性を確認したいと思ひます。また太田記念病院の状況を見て、経費等についても検討していきたいと思ひます。

■その他の質問

- ・小中学校の学校生活における諸課題について
- ・給食時間の割り振りについて
- ・中学生の自転車通学について
- ・中学生のボランティア活動状況について
- ・交通事故防止のための施策について



選挙に関する市民意識の高揚について

太田クラブ 白石 さと子

議員 今年度における選挙の投票率向上の取り組みと成果を伺います。

総務部長 市の西部3カ所の期日前投票所を新田庁舎に集約し、新たにイオンモール太田を加えた市内3カ所に再編しました。各投票所の投票率は見込んでいた割合に近い結果となり、一定の成果が得られたと考えています。

議員 期日前投票所への送迎サービスについて、概要と実績を伺います。

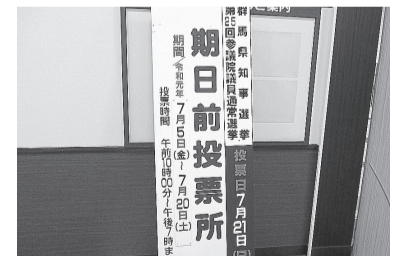
総務部長 本年7月20日、70歳以上の一人暮らしの方を対象とした無料送迎バスを運行しました。午前と午後各1便を8路線で運行し、延べ21人が利用しました。周知期間が短く、利用者も伸び悩んだため、今後はより良い方法を研究したいと思ひます。

議員 投票所の再編と送迎サービスについて、市長の所見を伺います。

市長 投票しやすい場所に変えていくことは適切な対応と思ひます。さらに、期日前投票所を増やして投票日にも投票

可能とできればと思ひますが、実現は難しいと思ひます。送迎サービスについては期待したほどの効果は得られなかったため、今後検討を重ねていきたいと思ひます。

議員 投票率向上のための取り組みについて、市長の所見を伺います。



市長 若い人へ喚起をするには、出前授業に加え、高校生に市議会を傍聴してもらうのが良いと思ひます。自分で見聞きして、投票の大切さを感じてもらうことが大切と考えています。

■その他の質問

・女性活躍推進に向けた本市の取り組みについて